

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 4 月 16 日 報告者：西脇 啓太

行事種別	研究会	行事番号	230000184
開催日	令和 5 年 4 月 15 日（土）		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール（所在地 名古屋市）		
テーマ	認定心電検査技師を目指そう！		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	半田市立半田病院 西脇 啓太		
講 師	1. 不整脈疾患 JA 愛知厚生連 安城更生病院 谷澤 弘規 2. 虚血性疾患 JA 愛知厚生連 江南厚生病院 小島 光司 3. その他の疾患 半田市立半田病院 西脇 啓太		
内 容	本研究会は 12 誘導心電図の判読ポイントを改めて学びなおし、認定心電技師の受験者が一人でも多くなることを目的に企画した。講演では 3 名の技師が分野ごとに問題形式で波形を提示し解説を行った。 講演①では谷澤技師が上室性不整脈の判読のポイント、徐脈性不整脈の分類、デバイスの基礎などの概略について説明し、実際の波形を用いた設問を用意して解説を行った。 講演②では小島技師が狭心症と心筋梗塞の違いや急性冠症候群の診断の流れ、ST 変化のから冠動脈病変部位の推定を行う方法について説明し、判読クイズでは知っておくと便利な Cabrera 配列についても紹介した。 講演③では西脇技師が電極のつけ間違いが波形に与える影響や、副伝導路の部位の推定について受講者と考えていながら解説を行った。 生波形を提示し認定試験と同様に設問形式で講義を進めたため、受講者には波形判読について考えてもらう時間を確保できたと感じている。本研究会をきっかけに認定心電技師を目指そうと思う会員が増えることを期待する。		
参加者	総数：110 名（会員 109 名、県外会員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：118 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 6 月 4 日 報告者：岸 久美子

行事種別	研究会	行事番号	230000410
開催日	令和 5 年 5 月 20 日（土）～6 月 2 日（金）		
時 間	開 始	—	終 了
場 所	オンデマンド配信		
テーマ	心臓超音波の基礎 『ポイントをおさえよう』		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	小牧市民病院 岸 久美子		
講 師	1. 基本断面の描出ポイント 総合大雄会病院 水内 早紀 2. 断層法での基本計測のポイント 名古屋掖済会病院 花井 甲太郎 3. ドブラ法での基本計測のポイント JA 愛知厚生連江南厚生病院 小島 光司 4. 壁運動評価のポイント 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 海老名 祐佳 5. 右心機能評価のポイント JA 愛知厚生連安城更生病院 犬塚 斉 6. 拡張能評価のポイント 藤田医科大学病院 中村 和広 7. プラス α 断面のポイント 小牧市民病院 岸 久美子		
内 容	昨年 1 2 月の基礎講座座学講演のオンデマンド配信を行った。 基礎講座は、「心臓超音波検査の基礎『ポイントをおさえよう！』」をテーマに主に初級者、初心者を対象とした。しかし、心臓超音波検査に携わるスタッフであれば皆熟知しておくべき重要かつ基本的な内容であるため、今回は、多くの方に知識の共有ができればと思い企画しました。表題は同じであるが、講演者には再度スライド、音声確認をしていただき、配信に至った。 アンケートには会員番号、名前、施設名の記入を必須とし、点数付与の際に漏れのないようにした。各講演に 1 問の確認テストを実施したが、2 1 日（日）に解答選択の誤りが発覚し、9 名の方にお詫びのメールを送信した。今後はこのようなことが起こらないように確認作業の徹底をさらに図っていきたい。		
参加者	総数：191 名（会員 93 名、県外会員 98 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：362 名		
共催、後援など	なし		

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 7 月 18 日 報告者：玉置 左弥

行事種別	講演会		行事番号	230002861	
開催日	令和 5 年 7 月 15 日 (土)				
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了	17 時 00 分	
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール (所在地 名古屋市)				
テーマ	臨床検査技師が知っておきたい乳腺のこと ～検査から治療まで～				
生涯教育履修点数	専門教科 20 点				
司 会	愛知医科大学病院 淀川 千尋				
講 師	1. 乳腺超音波検査の基礎 豊川市民病院 星川あすか 2. 乳がん診療の実際 岡崎市民病院 乳腺外科 がんセンター長 村田 透				
内 容	乳がんは女性が患うがんの中で最も多く、罹患率は年々増加傾向にある。今回、「臨床検査技師が知っておきたい乳腺のこと～検査から治療まで～」というテーマで講演会を企画した。 講演 1「乳腺超音波検査の基礎」では、検査体位や画面の設定方法、検査時の注意点や走査方法、解剖の説明など乳腺超音波検査を行う上で基本的なことや乳腺腫瘍の評価方法、乳腺腫瘍や非腫瘍性病変を超音波画像と病理組織像を対比して説明した。症例提示では、マンモグラフィ画像、超音波検査画像を提示し、参加者に良悪性の判断を考える時間を設け、病理組織結果を提示し、症例についての解説をした。乳腺超音波検査で乳腺腫瘍を判断する際には、組織像を考えながら、検査を行うことが大切であるということを確認した講演であった。 講演 2「乳がん診療の実際」では、乳がんの診断と超音波検査の役割、薬物治療について、岡崎市民病院での乳腺医療の取り組み（乳腺外科におけるチーム医療、診察・検査の待ち時間問題、遺伝性乳がん卵巣がん症候群：HBOC）について講演していただいた。超音波検査は乳がん診療において大きな役割を担っているとのことであった。乳がん診療についての理解が深まる内容であった。 参加者アンケートでは、86.6%の方から講演内容に満足したとの回答が得られた。				
参加者	総数：66 名（会員 66 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：81 名				
共催、後援など	なし				

2022.10.12

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 9 月 17 日 報告者：水内 早紀

行事種別	研究会	行事番号	230008902
開催日	令和 5 年 9 月 16 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	症例から学ぼう		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	小牧市民病院 岸 久美子 藤田医科大学病院 中村 和広		
講 師	1. 何か変かも!?この人工弁 藤田医科大学病院 中村 和広 2. 何か変かも!?この動き 社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 水内 早紀 3. 何か変かも!?この心筋 小牧市民病院 岸 久美子 4. 何か変かも!?この血流 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 海老名 祐佳		
内 容	「症例から学ぼう」をテーマに、4 つの演目を通して心エコー検査施行時に「何か変かも!」と気づいてもらい、気付いた時の検査の進め方やエコー診断への導き方など、技術・知識の共有ができるような内容の研究会を企画した。 講演 1 では人工弁の基礎知識や人工弁置換術後の心エコー検査前の心構えについての解説を行い、人工弁置換術後の異常症例を 2 例(stuck valve・弁座の動揺)提示した。 講演 2 では心タンポナーデの症例を 3 例提示し、心嚢液の評価法や心タンポナーデの血行動態を反映する心エコー所見(特に右室・右房の虚脱)について解説した。 講演 3 では肥大型心筋症の症例(心尖部肥大型心筋症・アミロイドーシス・心サルコイドーシス)を提示し、それぞれの評価するポイントなどを解説した。また、経時的な壁厚の変化を捉えた画像や、その他に左室緻密化障害や肺癌の心筋転移の症例も提示した。 講演 4 では小児の先天性心疾患 2 症例(大動脈弁化狭窄症に合併した VSD・VSD に伴う右室二腔症)を提示し、心エコー検査でそれらを疑ったら評価することや術後の心エコー評価等を解説した。 今回 4 つの演目での講義であったが、参加者アンケートでは 97%の方から 1 演目あたりの講義内容は適切であったとご回答いただいた。また、100%の方が今後の検査の参考になったとご回答いただいた。多くの症例を見る事ができ勉強になったというご意見もいただいた。アンケート結果からも有意義な研究会となったと感じている。		
参加者	総数：75 名(会員 72 名、県外会員 3 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、)・申込総数： 83 名		
共催、後援など	なし		

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 10 月 23 日 報告者：鍋谷 洋介

行事種別	研究会	行事番号	230011221
開催日	令和 5 年 10 月 21 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	AiCCLS 脳波手引書解説		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	トヨタ記念病院 鍋谷 洋介		
講 師	5. 脳波手引書解説① 脳波検査の実際 豊橋市民病院 神藤 駿 6. 脳波手引書解説② 脳波記録波形と症例 名古屋大学医学部附属病院 藤澤 嘉朗		
内 容	愛知県臨床検査標準化協議会 (AiCCLS) において、脳波検査の手引書を作成したことで、愛知県における脳波検査の精度向上が期待される。これを受け、本研究会では、脳波検査の手引書の内容解説を行った。 講演①では、神藤技師が脳波検査の手法や原理について、手引書の内容に沿って解説した。脳波とはどういうもので、そこから何が分かるのか、検査の実際について実際の動画を使用して説明した。検査時に混入するアーチファクトの種類、緊急時の対応なども内容に含めた。精度管理やレポートについて、実際の運用 (レポートの写真など) を実例として分かりやすく説明した。最後に法的脳死判定について、実施施設が限られているため大まかではあるが、どのように行っていくのかを解説した。解説内で、聴講者に問いかける形式にすることにより、自身で考えてもらう機会を設けた。 講演②では、脳波検査について、実際の波形と症例を挙げて解説した。基準法を変えた際の波形変化や、賦活によって誘発される反応、種々のてんかんにおける発作波形を実際の波形を提示して解説した。手引書に載っていない症例の波形を提示することにより、手引書の内容だけでなく、発展した知識を身に着けることが期待される。 脳波手引書は、新人技師でも検査時に内容を見ながら行うことにより、精度の高い業務遂行ができることを目的として作成している。各施設にて精度の高い検査を行うために本書を活用する機会が増えることを期待する。		
参加者	総数： 88 名 (会員 87 名、県外会員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、) ・申込総数： 95 名		
共催、後援など	なし		

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 12 月 15 日 報告者：及川 和紀

行事種別	基礎講座	行事番号	230014426
開催日	令和 5 年 12 月 10 日 (日)		
時 間	開 始	9 時 30 分	終 了 17 時 00 分
場 所	藤田医科大学 3 号館 4 階合同講義室 (所在地 豊明市)		
テーマ	スパイロメトリー『知識・技術のアップデート』と CPX 入門		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	なし		
講 師	1. VC・FVC JCHO 中京病院 宮澤 法子 2. FRC・DLco 名古屋掖済会病院 花井 甲太郎 3. CPX 入門 豊田刈谷総合病院 鈴木 優大 JA 愛知厚生連海南病院 樋口 昌哉 実技講習 ・生理検査研究班班員		
内 容	【VC・FVC】「スパイロメトリーの極意」をテーマに精度管理、検査前準備、VC・FVC の手順や注意点、検査結果の解釈について講義を行った。精度管理、VC・FVC については実際に実習し、ガイドラインの理解と再確認ができる内容とした。 【FRC・DLco】精密検査の精度管理、FRC・DLco 測定の正しい手順、測定に影響を与える因子や検査実施にあたって工夫がある場合の対処方法について講義を行った。実際に精度管理や測定に関して実習を行い、その場で質疑応答の場を設け理解を深める内容とした。 【CPX 入門】CPX に関する基礎知識、機器操作、患者説明、データ解析について講義を行った。精度管理や機器装着、検査実施まで実習を行い、会場でディスカッションしながらデータ解析を行う事で理解を深める内容とした。		
参加者	総数： 12 名 (会員 12 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、) ・申込総数： 13 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 12 月 15 日 報告者：及川 和紀

行事種別	基礎講座	行事番号	230014437
開催日	令和 5 年 12 月 10 日 (日)		
時 間	開 始	10 時 50 分	終 了 17 時 00 分
場 所	藤田医科大学 3 号館 4 階合同講義室 (所在地 豊明市)		
テーマ	スパイロメトリーと呼吸抵抗・FeNO ～息も忘れる呼吸機能検査～ 知識と実践の勉強会		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	なし		
講 師	1. VC・FVC JCHO 中京病院 宮澤 法子 2. FRC・DLco 公立陶生病院 櫛田 智仁 3. 呼吸抵抗・FeNO 名城病院 及川 和紀 実技講習 ・生理検査研究班班員		
内 容	【VC・FVC】「スパイロメトリーの極意」をテーマに精度管理、検査前準備、VC・FVC の手順や注意点、検査結果の解釈について講義を行った。精度管理、VC・FVC については実際に実習し、ガイドラインの理解と再確認ができる内容とした。 【FRC・DLco】精密検査の精度管理、FRC・DLco 測定の正しい手順、測定に影響を与える因子や検査実施にあたって工夫がある場合の対処方法について講義を行った。実際に精度管理や測定に関して実習を行い、その場で質疑応答の場を設け理解を深める内容とした。 【呼吸抵抗・FeNO】手技が簡単だからこそ学ばれない原理について説明し、結果の見方や解釈について説明を行った。体格の違いや基礎疾患のある被検者の値を予想してもらうなど、交絡因子の知識を含め、理解を深めることを目指した。		
参加者	総数： 17 名 (会員 16 名、県外会員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、) ・申込総数： 19 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 12 月 15 日 報告者：及川 和紀

行事種別	基礎講座	行事番号	230014448
開催日	令和 5 年 12 月 10 日 (日)		
時 間	開 始	9 時 30 分	終 了 17 時 00 分
場 所	藤田医科大学 3 号館 4 階合同講義室 (所在地 豊明市)		
テーマ	基礎講座を聴講し、実習を見学しよう！		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	なし		
講 師	1. VC・FVC JCHO 中京病院 宮澤 法子 2. FRC・DLco 公立陶生病院 櫛田 智仁 名古屋掖済会病院 花井 甲太郎 3. 呼吸抵抗・FeNO 名城病院 及川 和紀 4. CPX 入門 豊田刈谷総合病院 鈴木 優大 JA 愛知厚生連海南病院 樋口 昌哉 実技講習 ・生理検査研究班班員		
内 容	【VC・FVC】「スパイロメトリーの極意」をテーマに精度管理、検査前準備、VC・FVC の手順や注意点、検査結果の解釈について講義を行った。精度管理、VC・FVC については実習を見学していただき、ガイドラインの理解と再確認ができる内容とした。 【FRC・DLco】精密検査の精度管理、FRC・DLco 測定の正しい手順、測定に影響を与える因子や検査実施にあたって工夫がある場合の対処方法について講義を行った。実際の実習の様子を見学していただき、その場で質疑応答の場を設け理解を深める内容とした。 【呼吸抵抗・FeNO】実習を見学していただき、原理の理解・結果の解釈や交絡因子について聴講いただいた。 【CPX 入門】CPX に関する基礎知識、機器操作、患者説明、データ解析について講義を行った。精度管理や機器装着、検査実施まで実習を行い、会場でディスカッションしながらデータ解析を行う事で理解を深める内容とした。		
参加者	総数： 20 名 (会員 20 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、) ・申込総数： 20 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

所属：生理検査研究班 提出日：令和 6 年 2 月 20 日 報告者：花井 甲太郎

行事種別	研究会	行事番号	230023044
開催日	令和 6 年 2 月 17 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 1 病棟 10 階 加藤化学記念カンファレンスホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	令和 5 年度愛臨技サーベイ解説		
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点		
司 会	名古屋掖済会病院 花井 甲太郎		
講 師	1. 愛臨技精度管理調査報告 総括 花井 甲太郎 (名古屋掖済会病院) 2. 心電図検査 小島 光司 (JA 愛知厚生連江南厚生病院) 3. 腹部・表在超音波検査 淀川 千尋 (愛知医科大学病院) 4. 心臓・血管超音波検査 水内 早紀 (総合大雄会病院) 5. 脳神経検査 鍋谷 洋介 (トヨタ記念病院) 6. 呼吸機能検査 櫛田 智仁 (公立陶生病院)		
内 容	令和 5 年度愛臨技サーベイの解説を行った。分野ごとに 5 名の技師が設問ごとに詳しい説明を加えて解説した。とてもわかりやすく解説されていて、設問の意図や関連する症例等も提示されていた。 昨年度に引き続き、本年度も問題作成に際して注意を払い作成したが、心電図検査、腹部・表在超音波検査、心臓血管超音波検査にて各分野 1 問、計 3 問で正答率の低い結果となってしまった。来年度以降、設問作成から校正において妥当性を担保すべくチェック体制を整えていきたい。 動画媒体においては、昨年度同様に web のみでの公開にした。不具合等の報告もなく来年度も続けていきたいと思う。 今後も内部精度管理も含め、日常業務につながるような精度管理の問題作成を進めていきたい。また、来年度精度管理の講演だけでなく、日常業務困っている内容について班員との意見交換ができる場を設けて、標準化を推進していきたいと検討している。		
参加者	総数：34 名 (会員 34 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、) ・申込総数：38 名		
共催、後援など	なし		